

【第6学年国語】

自分の伝えたい意見に合わせて、資料を選び、構成メモを使って意見文の構成を考え、説得力のある意見文を書く。

1 指導計画

| | |
|------|---|
| 1時間目 | 「地産地消メニュー」のよさを伝える意見文を書くという学習課題について、誰に何を伝えたいのか自分の意見を明確にし、それに合わせて資料を2つ選び、その資料についての自分の考えをもつ。 |
| 2時間目 | 双括型の構成メモを使い、「始め・中（2つ）・終わり」の三部構成・4段落の意見文の構成を考える。 |
| 3時間目 | 自分の「体験や知識」、資料などの「数値」を入れ、「地産地消メニューのよさ」が伝わる説得力のある意見文を書く。 |

2 指導のポイント

この問題の学習課題は、「地産地消メニュー」のよさを伝える意見文を書くことである。この課題解決の過程で重要なことは、この言語活動を行うことにより以下の（ ）内の知識・技能を培うことである。①伝えたい内容を決める。（自分の意見をもつ。）②意見に合わせて資料を選ぶ。（資料の「事実」に対して「考え」をもつ。非連続テキストの引用の仕方を理解する。）③資料を解釈する。（「事実」と「考え」とをつなぎ、「解釈」をつくる。）④構成を考える。（「始め・中・終わり」の構成と、双括型の構成とを理解する。）⑤記述する。（「体験や知識」、「数値」の入れ方を理解する。）⑥推敲する。（自分に培われた知識・技能を自覚する。）

つまり、この学習課題を解決することにより、自分の伝えたいことを相手に伝わるように説得力のある意見文に書くことができるようにすることである。

本指導案では、この過程を3時間に分け、一つ一つの知識・技能を自覚的に培う展開を提案する。

1時間目

まず、何を伝えたいのか（意見）、はっきりと伝えたい内容を決める。このことをもとに、資料を選んだり解釈したりしていく。

伝えたい意見に合わせて、選んだ資料を説得力を増すように意見文に組み込もうとして、子どもは必然的に連続テキストや非連続テキストの解釈や引用の仕方について学習の意欲を高める。

2時間目

双括型の文章では、自分の意見を「始め」と「終わり」とに書く。これに合わせ、「中」の部分を書いていく。しかし、ただ事実を並べただけでは自分の意見の「根拠」にはならない。まず、事実に対して考えをもつ（本指導案では、「体験や知識」、「数値」を入れ中の部分を構成する知識・技能を対象にしている。）。そして、それを、「中1」・「中2」に組み立てる。より説得力があると考える方を「中1」とする。「中」で、自分の意見を裏付けする資料を解釈して「構成メモ」に書くことが、本時のねらいである。

3時間目

実際に、「構成メモ」にそって意見文を書く。その際に、「自分の体験や知識を入れたもの」と「入れないもの」、「資料の数値を使って書いたもの」と「数値のないもの」とを比較し、その知識・技能を使った方がより説得力を増すことを実感させ、記述させる。

本指導案では、記述までの提案であるが、獲得した知識・技能を自覚的に評価させるため、子どもに書かせた文章は、ぜひ、本指導案のねらいである以下の観点で推敲させたい。（観点：①自分の意見をもてたか。②資料の「事実」に対して「考え」をもてたか。③「事実」と「考え」とをつなぎ、「解釈」をつくることができたか。④「始め・中・終わり」の構成と、双括型の構成とを理解したか。⑤「体験や知識」や「数値」の入れ方を理解したか。）

3 各時間の指導

(1) 「地産地消メニュー」のよさを伝える意見文を書くという学習課題について、誰に何を伝えたいのか自分の意見を明確にし、それに合わせて資料を2つ選び、その資料についての自分の考えをもつ。（1時間目）

主な学習活動と教師の働き掛け

・留意点 □評価

問題場面の把握

T 山本小学校の6年生は、給食週間のリクエストメニューについて、グループで話し合い、学級会で提案することになりました。その提案されたメニューの中から、一つが学級のリクエストとして給食に出ることになりました。

田中さんのグループは、何について提案しているのでしょうか？問題を読んでみましょう。

- 「食べ残しゼロ！大すきハッピーメニュー」です。

T 田中さんのグループでは、「食べ残しゼロ！大すきハッピーメニュー」で、何を伝えたいのですか。

- 給食の食べ残しを減らしたいということです。

T そのために、どの資料を選びましたか。

- 資料アと資料イと資料ウです。

T どうしてですか。

- 資料アでは、給食をきれいな人が多いから、「すきなメニュー」にしたなら、きれいな人が少なくなると考えたからです。
- 資料イでは、洋風のメニューだと食べ残しが少なく、すきなメニューを出せば、食べ残しが減らせると考えたからです。
- 資料ウでは、好きなメニューを出せば、食べ残しが減らせると考えたからです。

〈ワークシート〉

問題把握

T あなたが、提案するとしたら、何を提案し、そのために、どの資料を選び、その資料をどんな理由で取り入れますか。

意見をもつ。意見をもとに資料を選ぶ。資料に対する考えを書く。

〈ワークシート〉

T では、次の時間に、このシートをもとに、「始め・中（2つ）・終わり」の三部構成・4段落の意見文の構成を考えましょう。

- 問題場面をはっきりさせる。

- 田中さんのグループの提案を整理するワークシートを用意する。

- 全員で、ワークシートの書き方を確認しながら、田中さんのグループで、この意見文の構成を押さえる。

- * 意見文の主題
- * 資料選択
- * 資料選択の根拠と理由付け

- 資料イと資料ウを一緒に記述してもよしとする。

- このシートをA4横2枚上下で、A3に印刷して使用すると、構造が目に入りやすく、構成を転化しやすい。

- この構成で、日頃から書かせたり話させたりしていくと、事実と根拠とを結び理由付けを、自分でできるようになる。

- （中が2つが最小単位。習得したら、子どもに必要感があれば、3つ以上にしたり、2つの事実を合体させ根拠にしたりしてもよい。）

- このシートが完成しているかどうかを確かめて、2時間目に進む。完成していない場合は、選んだ資料についてどう考えるか、個別に口頭作文する。

- 資料を2つ選び、自分の意見に整合した理由を書けたか。

(2) 双括型の構成メモを使い、「始め・中(2つ)・終わり」の三部構成・4段落の意見文の構成を考える。(2時間目)

| 主な学習活動と教師の働きかけ | | | | 留意点 □評価 |
|--|---|---|-----|--|
| <p>T 今日、前回書いたワークシートをもとに、意見文の構成を考えましょう。</p> <p>双括型の構成を理解する。</p> <p>T このような、「始め」と「終わり」に自分の意見を書く文章の構成を「双括型」と言います。 〈構成メモ〉</p> | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・「双括型」・「頭括型」・「尾括型」の構成と特徴とを教える。 ・時間が許せば、短い例文を用意してもよい。子どもの構成に対する「説得」の実感が増す。 ・中」に要約を書くこと、「始め」と「終わり」との書き方を指導する。大きくした構成メモに色を分けて見やすくするのもよい。 ・双括型は、意見がくどいという受け取られ方をする場合もあることも添える。 ・「このように」は、順接の接続詞であり、2年生で指導済みであるが、尾括する時に、取り立て指導するのもよい。 |
| 終わり | 中 | | 始め | |
| 4段落 | 3段落 | 2段落 | 1段落 | |
| 意見 (このように) | | | 意見 | |
| | | | | 意見 |
| <p>T 「双括型」は、最初に意見を述べ、さらに、終わりに「このように」と重ねてもう一度意見を述べるので、最も説得力のある構成です。</p> <p>「頭括型」は、先に、自分の意見を述べてから、理由を述べるので、相手は「その意見の理由を意識して」読みます。</p> <p>「尾括型」は、理由を述べてから、意見を述べるので、相手は、「理由を合わせて、意見を推測しながら」読みます。</p> <p>ですから、「双括型」は、「頭括型」と「尾括型」のよいところを合体した構成です。</p> <p>伝えたい内容と相手と場とに合わせて、どの構成にするのか決めます。</p> <p>双括型の構成メモを、意見に合わせて書く。</p> <p>T では、前回のワークシートの内容を、短く「中」に整理して書き、「始め」と「終わり」を書きましょう。「始め」では、今回は、「よさは2つあります」というナンバリングのリード文で書いてください。「終わり」は、「このように」(「このような」でも可。)から始まるまとめる言い方で書きましょう。 〈構成メモ〉</p> | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・この構成メモが完成しているかどうかを確かめて、3時間目に進む。完成していない場合は、「始め」と「終わり」の書き方を個別に指導する。 |
| 終わり | 中 | | 始め | |
| 4段落 | 3段落 | 2段落 | 1段落 | |
| 考えます。 「地産地消メニュー」がよいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 数値の読み取り。 ・ アメリカと地域のブロックリーの二酸化炭素発生量の比較。 ・ 二酸化炭素の発生が少ない方が、環境に優しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地産地消」は、環境に優しい。 ・ 資料ク | 意見 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養が損なわれない。 ・ 母も「栄養満点だ。」と言っていた。(経験) ・ 自分でもミニトマトを育てた。(経験) | 敦子 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料工 | 意見 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、「地産地消メニュー」を提案します。「地産地消メニュー」のよさは、二つあります。 | 意見 | |

T では、次回は、いよいよ意見文を書きましょう。 たか。

(3) 自分の「体験や知識」、「数値」を入れ、「地産地消メニューのよさ」が伝わる説得力のある意見文を書く。(3時間目)

| 主な学習活動と教師の働きかけ | | ・留意点 □評価 |
|--|--|--|
| <p>「体験や知識」や「数値」を入れると、意見が説得力を増すことを理解する。</p> <p>T 今日は、いよいよ意見文を書きましょう。</p> <p>T 今日は、1つ目の資料について書く時に、自分の「体験や知識」を入れて書く場合と、2つ目の資料について書く時に「数値」を使って書く場合とで、相手が説得されるように書くにはどうしたらいいか、考えてみましょう。</p> <p>〈例文1〉(経験あり)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>二つ目のよさは、環境に優しいことです。例えば、アメリカからブロッコリーを輸入した場合、五十一グラムの二酸化炭素が発生します。地域で生産されたブロッコリーを使えば、二酸化炭素の量は少なくても済みます。温暖化の原因と言われている二酸化炭素の発生が少ないので、環境に優しいと言えます。</p> </div> <p>〈例文2〉(経験なし)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>二つ目のよさは、環境に優しいことです。地域で生産されたブロッコリーを使えば、二酸化炭素の量は少なくても済みます。温暖化の原因と言われる二酸化炭素の発生が少なくないので、環境に優しいと言えます。</p> </div> <p>T どちらが、説得力がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「体験や知識を入れて」書いた方です。 <p>T どうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養がそこなわれないことが、遠い世界のことではなくて、自分や自分の母のこととつなげて書かれているので、自分のこととして考えやすいからです。 <p>〈例文1〉(数値あり)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一つ目のよさは、栄養が損なわれやすいということです。地域で生産された食べ物を使うと栄養が損なわれず、新鮮なまま食べることが出来ます。</p> <p>私は、家で採れたばかりの野菜を使って、サラダを作ったことがあります。</p> <p>母は、栄養満点だと言っています。私は、その通りだと思いました。</p> </div> <p>〈例文2〉(数値なし)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一つ目のよさは、栄養が損なわれやすいということです。地域で生産された食べ物を使うと栄養が損なわれず、新鮮なまま食べることが出来ます。</p> </div> <p>T どちらが、説得力がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「数値を入れて」書いた方です。 <p>T どうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロッコリーを輸入した場合、二酸化炭素がどれだけ増えたかがはっきりわかるので、自分の身近なこととして捉えやすいからです。 <p>T そうですね。では、あなたが意見文を書く時も、この「体験や知識」や「数値」と自分の意見とをつないで書き、相手が説得されるようにしましょう。</p> <p>T それでは、あなたの伝えたい提案を、構成メモをもとに、400文字くらいで書いてみましょう。</p> <p>構成メモをもとに、意見文を書く。</p> | | <p>・留意点 □評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回書いた「構成メモ」と照応しながら、行う。 例文を拡大して用意し、子どもの指摘があったところに線を引く。よさを子どもの言葉で板書する。 時間が許せば、資料の1つを、実際に十分な例文に入れて書かせたり、数値を入れて書かせたりしてみるとよい。 早く終わった子どもに、自己評価させる。 <p>〈自己評価カード〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分の意見をもてたか。 資料の「事実」に対して「考え」をもてたか。 「事実」と「考え」とをつなぎ、「解釈」をつくることができたか。 「始め・中・終わり」の構成と、双括型の構成とを理解したか。 「体験や知識」や「数値」の入れ方を理解したか。 <p>□自分の「体験や知識」や「数値」を入れ、「地産地消メニュー」のよさが伝わる双括型の説得力のある意見文を書けたか。</p> |